

1 事業の概況

本市水道事業は、安全で安定した給水活動の継続のため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設及び老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、1,027,805,548円を投じ、安定給水の向上と災害時等の給水対策のため、管網未整備路線の出水不良の改善と区画整理地区において管の布設を必要とする箇所を対象に、配水管布設工事を行い、口径75～600mmの配水管6,555mを布設するとともに、浄配水場整備工事費として、神根浄水場受水池耐震補強工事、横曽根浄水場小水力発電設備設置工事を行いました。

一方、改良事業では、2,735,365,187円を投じ、老朽铸铁管等の更新のため配水管布設工事として口径75～600mmの配水管等10,136mを布設するほか、老朽化した施設の更新のため浄配水場整備工事を実施しました。

改良事業の浄配水場整備工事は、平成26年度から平成27年度の2ヶ年継続事業である神根浄水場場内配管布設工事を始め、神根浄水場取水・末端圧テレメータ更新工事、上青木浄水場3号井掘替工事、石神配水場配水次亜注入設備更新工事等を行いました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の主な収入である給水収益の決算額は10,373,104,529円で、予算現額10,593,137,000円に対して97.9%、受託工事収益は107,308,656円で、予算現額127,975,000円に対して執行率83.9%、水道利用加入金は609,012,000円で、予算現額759,931,000円に対して執行率80.1%となっております。これらにその他営業収益、長期前受金戻入、その他特別利益等を加えた総額は12,448,713,060円で、予算現額12,871,887,000円に対して96.7%の執行率となっております。

一方、収益的支出の決算額は11,044,493,751円で、予算現額11,778,341,000円に対して93.8%の執行率となっております。主な内訳は、営業費用9,667,014,420円、企業債の支払利息642,740,260円、その他特別損失647,702,715円となっております。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は1,404,219,309円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的支出の決算額は5,154,968,208円で、予算現額5,944,719,000円に対して86.7%の執行率となっております。この内訳は、建設改良費3,771,580,975円、企業債償還金1,383,387,233円となっております。

一方、資本的収入の主なものは企業債900,000,000円で、このほか固定資産売却代金154,010円、受託工事収入53,498,611円、一般会計の負担金45,359,783円、国庫補助金178,804,000円を加えた決算額は、1,177,816,404円となり、予算現額1,193,548,000円に対して98.7%の執行率となっております。

3 給水状況

本年度末日の給水人口は590,197人で、前年度に比べ4,706人(0.8%)増、給水世帯数は268,363世帯で、前年度に比べ4,325世帯(1.6%)増となっております。

年間総配水量は、64,217,205^m³で、前年度に比べ446,650^m³(△0.7%)の減となり、有収水量は57,770,299^m³で、有収率は89.96%となっております。